

広報

なんせい

第32号

発行 南西糖業株式会社 編集 総務部

〒891-7621

鹿児島県大島郡天城町兼久高釣2337

Tel 0997(85)3125 Fax 0997(85)3129

さとうきびの
生産拡大に向けて



徳之島事業本部長
新美 薫

徳之島の皆様、残暑お見舞い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響は依然大きく、色々大変な状況にある方も多いかと思いますが、ワクチンの接種が進むまで、みんなで頑張りましょう。

さて、この前の製糖期は天候に恵まれ、さとうきびの量は18.4万トと久々に大台に乗り、近年では良い製糖となりました。当社としましては、関係諸機関の皆様方と協力して生産拡大に取り組んだ成果が表れたものと、一安心している所です。しかしながら、昨年の夏植と今年の春植に関し

ては面積が伸びておらず、今後も厳しい状況が続いて行くものと考えています。

さとうきびは自然災害に強く、最も手間がかからない作物の一つで、徳之島にとっては欠くことのできない基幹作物ですが、現状は高齢化や後継者不足、収益性の見劣りなどによって、作付面積の減少が続いており、危機的な状況にあります。

当社はこの状況を打破するため、昨年からの3年間をさとうきびの生産回復に全社を挙げて取り組む期間であると位置付け、様々な取組を実行中です。

7月末の時点では、新型コロナウイルスの影響下ではありますが、東京オリンピックが開催され、日本人選手が大活躍しており、久しぶりに明るいニュースとなつて夢と希望を届けてもらつています。また、世界自然遺産への登録も決定し、今後の発展の契機となることが期待されます。

緑豊かな徳之島で、さとうきびをベースに新しい産業や、新しい生活様式を模索しながら、豊かな自然と生活を守り続けられる様、協力して取り組んで行きましょう。

夏植面積拡大に向けて
3町出発式開催

今年は、例年より早く、令和3年度夏植え出発式が徳之島町を皮切りに、天城町、伊仙町で行われ、各関係機関や生産農家が集まり、目標面積の達成に向け「がんばろう三唱」で氣勢を上げました。

また、三町糖業部会の担当者から夏植支援助成に対する説明があり、目標達成を呼びかけました。

なお、夏植え等のご相談は、各原料事務所にてお問い合わせください。



お問い合わせ先

さとうきびに関してのご相談は各原料事務所までご相談ください。

平土野原料事務所 Tel 0997-85-4712

伊仙原料事務所 Tel 0997-86-3122

徳和瀬原料事務所 Tel 0997-82-1476



夏植出発式のようす

頑張るさとうきび農家のご紹介

伊仙町西部地区を中心に先進的なさとうきび栽培に取り組み美島拓也さんを紹介します。

美島さんは、7年前にお父様の後を継いで本格的にさとうきび生産とハーベスターの受託作業を始めました。

現在はビレットプランター植え付けやハーベスター2台で約60畝を収穫するなど、地域を支える有望な担い手として頼られています。



美島 拓也さん(39歳)

農地面積:さとうきび7ha,草地4ha

従業員:2名

所有機械:トラクター3台,ハーベスター2台,ユニック車

ブームスプレイヤー,ビレットプランター(松元式)

また同じ地域の若手農家である藤井さんや久野さんと一緒に(有)南西サービスの協力組織に加入し、さとうきび農家の作業支援に活躍しています。

製糖期には、収穫作業に加えてお母様が営んでいる黒糖作りを手伝うなど多忙な日々を送っています。

就農のきっかけ

高校卒業後、島を出て都会の運送会社で働いていましたが、幼いころに手伝った父との農作業での楽しさを思い出し、24歳で帰島して就農しました。

現在の営農規模

年間を通じて2名の従業員を雇用して、さとうきび栽培7畝と生産牛30頭を飼育し、ハーベスター収穫等の農作業受託を行っています。



ソムナンさん、美島さん、常さん

さとうきび

栽培の魅力

さとうきび栽培と畜産の複合経営に取り組んでいますが、堆肥をさとうきび圃場へ還元することで地力の向上が図れる等の利点が多くて魅力的です。

また、さとうきび作りは機械化がどんどん進んでいて規模拡大がしやすくなったことや価格が安定して作りやすいことも大きな魅力です。一方で最近はいノシ食害や除草にくい「ガットン」に悩まされています。



導入したビレットプランターでの植え付け風景

今後の方向性

昨年からは、ビレットプランターを導入し、苗取りから植え付けまでの全ての作業を機械化したことにより、作業効率が良くなったので、経営規模を拡大したいと思っています。

関係者へ一言

若手のさとうきび農家が少ないのは、畑が集まらず、規模拡大ができないためだと思います。今後、若者が頑張れる様な支援や仕組み作りを整えば、さとうきび産地を引き継ぐ後継者が出てくると思います。



単収が上がる 土づくりのポイント

夏植え最盛期

夏植えの最盛期を迎えています。8月初旬に植えた圃場では、そろそろ発芽してくる頃だと思えます。皆様のほ場の状況はいかがでしょうか？

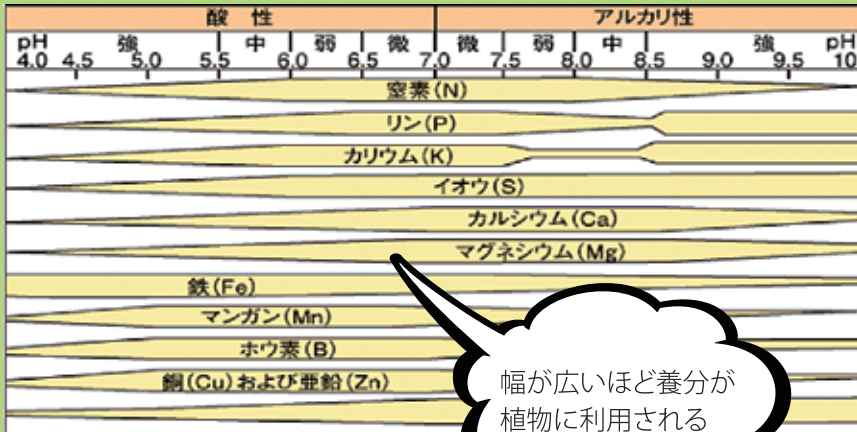
昨年を振り返って

夏植えで不発芽になった畑がありました。干ばつの影響もありましたが、ほとんどの場合は粘土質で排水が悪い畑で起こっています。掘り起こしてみると土が湿って酸素欠乏になり水腐れや窒息している場合がほとんどでした。このようにならないように、「もうひと手間」準備作業が出来たらと残念でした。

深耕による排水

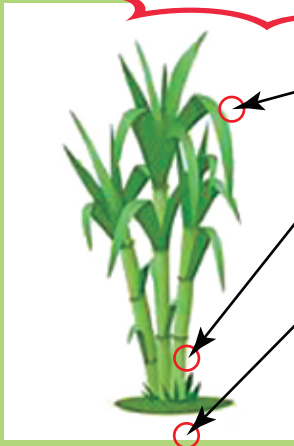
これを防ぐには、畑を深く耕して水切れが良い状態にしておく必要があるのですが、プラソイラーなどの深耕作業を事前に行ってお

(図1) 土壌の反応 pHと肥料要素の溶解利用度



幅が広いほど養分が植物に利用される

肥料の三大養素が不足すると!



N(窒素)が不足すると葉が黄緑色になり生長が阻害されます。

K(カリウム)が不足すると茎が細くなり節間生長が阻害されます。

P(リン酸)が不足すると根の生長が著しく抑制されます。

pHの低い畑で起こる弊害は以下のようなものです

塩基性成分(カルシウム、マグネシウム、カリウム)の欠乏

土壌中の硝酸化作用の低下による窒素吸収抑制

アルミニウムイオンの過剰害

リン酸のアルミニウムによる固定とそれに伴うリン酸吸収の悪化

徳之島の土壌pHは

図はpHの低い畑は窒素・リン酸・カリの効果が半減してしまつことを示しています。徳之島では、海岸地

の方が後の補植の手間を考えると理想的です。次に、図1をご覧ください。これは、肥料要素とpHの関係を示した図です。

帯に多い石灰岩土壌(耕地面積の49%)のpHは良いのですが、ジャガレ(粘板岩土壌)(29%)や花崗岩土壌(10%)その他(12%)のpHは4.5と強酸性であり、強酸性の畑が島の半分を占めています。つまり、いくら肥料を入れても実際には、吸収されずに無駄になっているところが多いの

です。石灰で前準備が一番 肥料の吸収力を高める方法として堆肥を導入するなど改善策はいくつかありますが、石灰で中和してpHを矯正する方法が最も安価で、まずはやってみてはいかがでしょうか。

但し、石灰と肥料を同時に散布すると化学反応で窒素ガスが発生してどちらも効果なくなるので、石灰を先にすき込んで数週間の時間差を置く必要はありますが、肥料を無駄にせず単収の高い栽培をするために、まずは、この手間は是非かけていただければと思います。

新規設備紹介

「伊仙工場」

さとうきびを搾る工程と搾ったジューズをきれいに濃縮する工程の制御室を統合しました。2つの工程が1つの制御室にまとまったことで、担当者同士の連携が良くなり、広い視野での状況把握やトラブル発生時の円滑な応援作業が可能となりました。



伊仙工場

「徳和瀬工場」

さとうきびジュースから結晶を作る工程の制御設備更新が行われ、従来の設備より自動で制御できる範囲が拡大し、点検作業や現場操作の省力化につながりました。製糖当初は新しい制御設備に苦労もありましたが、担当者の作業負荷軽減と監視・制御の効率化が図られました。



徳和瀬工場

新入社員紹介

令和3年4月1日付で新しく仲間入りした3名の新入社員を紹介します。

入社後、約4カ月が経ち、仕事にも慣れて元気はつらつと頑張っています。今後ともよろしくお願い致します。



徳和瀬工場
朝谷 元気

特技

サーフィン・スケートボード
抱負

会社の一員としていち早く仕事を覚え、早く認めてもらえる様に努力し、徳之島や当社の為にさとうきびを生産して貢献していきたい。



伊仙工場
太村凜之介

特技

バレーボール
抱負

新社会人として技術面、精神面ともにまだまだ未熟ではございますが当社と徳之島の発展に尽力できるように頑張ります。



伊仙工場
関 祥勝

特技

溶接
抱負

これまでの業務経験を活かし、更にスキルアップ出来るように日々の業務に取り組んでいきたい。また、当社と徳之島の発展に貢献できるようさとうきび作りも頑張っていきたい。

今年の製糖期、一緒に働きませんか？

- ✓ 未経験でも可
- ✓ 食事手当・技能手当有り
- ✓ 交通費支給

随時、個別説明会を行いますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

- お問い合わせ -

0997- 85-3125 (総務部)

QRコードから弊社HPをご覧いただけます

